

## 2021 年第 2 回 ABAC 会議ニュースリリース【仮訳】

2021 年 5 月 11 日

### 【アジア太平洋地域のビジネス界代表の声】

#### 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の克服には忍耐と協力が欠かせない

アジア太平洋地域のビジネス界の代表は、今週バーチャルにて APEC ビジネス諮問委員会（ABAC：APEC Business Advisory Council）の会合を開き、新型コロナウイルス感染症の公衆衛生上ならびに経済的な課題を克服するためには忍耐、協力、堅実な政策が必要であることを強調した。

「これは短距離走（スプリント）ではなくマラソンである」と ABAC のレイチェル・タウレレイ議長は述べた。「一致団結して取り組まなければ早期にゴールラインには到達できないであろう。」

タウレレイ氏は、ニュージーランドのダミアン・オコナー貿易・輸出成長担当大臣が開会の辞を述べた 2021 年の第 2 回 ABAC 会議の後、ABAC が来月の APEC 貿易担当大臣会合において提出する報告書を最終化したと話した。

「いまは決定的な時である。ワクチン接種を拡大することで新型コロナウイルス感染症を制御することができるこの機会を逃してはならない。貿易はワクチンやその他の医療用品の生産と流通を支援することによって、解決策の一部となり得るし、そうならなければならない」とタウレレイ氏は強調した。

「われわれは同じ地域のパプアニューギニアやインドを含む多くの国が直面している大惨事にひどく落胆している。われわれは、APEC に対し、ワクチンのナショナリズムを排除し、COVAX（COVID-19 Vaccines Global Access）イニシアチブを通して、より迅速かつ広範なワクチン接種を達成するための緊急行動を主導するよう要請する。」

タウレレイ氏は、ワクチン接種は経済回復を進める上での重要なツールの 1 つであると説明した。また、オーストラリア・ニュージーランド銀行（ANZ：Australia and New Zealand Banking Group Limited）チーフエコノミストのシャロン・ゾルナー氏によるプレゼンテーションでは、地域の不均衡な成長予測とかなりの下振れリスクが強調されたとも語った。

「過去 25 年間、より開かれた市場を構築するというわれわれの目標は、雇用の創出と生活水準の向上に貢献してきた。このアプローチは、新型コロナウイルス感染症の課題への、われわれの対応にも役立つはずである」とタウレレイ氏は付け加えた。

「優先事項は明らかである。ワクチン接種と検査を通じた一貫して安全な国境再開、非関税障壁をなくし、デジタル貿易の相互運用性を進化させることによる国境を越えたより強靱なサプライチェーン、そして、国内外の中小企業、女性、先住民コミュニティにとってのより公正な競争条件の構築である。」

タウレイ氏は、世界貿易機関（WTO：World Trade Organization）の改革もまた最優先事項だと述べた。「本日承認された ABAC の WTO ステートメントは、デジタル貿易、脱炭素化、包摂、農業や漁業の補助金における未対応事項など、新たな問題に効果的に取り組み、ルールを施行できる、強力で信頼できる時宜に適った WTO の形成を主導するよう APEC に要請している。」

「新型コロナウイルス感染症は即時的な脅威を与えているが、次に実存する大きな課題である気候変動から目を背けることはできない」とタウレイ氏は警鐘を鳴らした。「ABAC は、低炭素経済への移行を受け入れ、緊急の問題としてより大きな持続可能性を達成するための手段として、一連の気候変動リーダーシップ原則を取り纏め中である」と付け加えた。

タウレイ氏は、2021 年の ABAC テーマである「人、場所、繁栄」を掲げて締め括った。

「APEC のプトラジャヤ・ビジョンは、2040 年までに、開かれた、ダイナミックで、強靱かつ平和なアジア太平洋共同体とすることを求めている。われわれはその大望に賛成であり、2021 年の活動はその重要性を強調している。人がこのビジョンの中心にいないとならず、われわれの地球もそうでなければならない。そして、われわれの集团的繁栄を支えるために、最終的なアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP：Free Trade Area of the Asia-Pacific）の構築要素となる具体的な成果を積み上げていかなければならない」と、タウレイ氏は結論づけた。

以上